



あ

日 本 史 B 問 題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 15 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の A・B・C の各文を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

源頼朝は、1180(治承4)年の富士川の戦いののち、侍所を設置し、三浦一族の和田義盛をその長官である別当に任じて、頼朝と主従関係を結んだ武士たち^(a)を統御させた。また、1184(元暦元)年には、公文所と問注所を開設し、公文所の長官である別当には朝廷の下級官吏であった大江広元を任じて、一般の政務や財政事務を管掌させ、問注所の長官である執事にも朝廷の下級官吏であった ア を抜擢して、裁判の任にあたらせた。

他方で、頼朝は、関東の荘園や公領を次々と実力支配して、頼朝と主従関係を結んだ武士たちの所領支配を保障していった。

また、後白河法皇が義経に頼朝の追討を命じると、頼朝は、京都に軍勢を送ってその命令を撤回させるとともに、田1段あたり5升の兵糧米を徴収する権利、諸国の国衙の実権を握る在庁官人を支配する権利を獲得した。

このようにして、東国を中心に頼朝の支配権は全国に及ぶこととなり、ここに武家政権としての鎌倉幕府が誕生したのである。

問(1) 下線部(a)の「頼朝と主従関係を結んだ武士たち」のことを何と呼ぶか。漢字3字で記しなさい。

問(2) 空欄アに該当する人名を次の中から選んで、記号で記しなさい。

〔語群〕

- | | | |
|--------|--------|--------|
| A 三善清行 | B 三善康信 | C 三善為康 |
| D 三好長慶 | E 三好義継 | F 三善康連 |

問(3) 下線部(b)に関連して、もう一つ、頼朝が獲得した権利は、諸国に
〔イ〕を、諸国の公領・荘園に〔ウ〕を任命する権利であった。
空欄(イ)に該当する地方機関は、初め何と呼ばれていたのか、漢字4字で、
記しなさい。

B

後醍醐天皇は、理想的な天皇政治の再現をめざして、建武の新政を行った
が、二条河原落書に見られるように混乱状況をもたらした。

^(c)
新政への不満が地方武士による反乱という形で現れた最大のものが、北条時
^(d)
行が起こした乱であり、時行は、信濃から武蔵に進出し、鎌倉を占拠した。こ
れに対して、足利尊氏は、天皇から、東下の許可などを得られなかったもの
の、各所で北条軍を破って鎌倉を奪還し、その後も、新田義貞・北畠顕家らと
の戦闘を重ね、ついに、摂津の湊川で楠木正成を破って京都を制圧した。

尊氏は、後醍醐天皇を廃して持明院統の光明天皇を擁立し、次いで、当面の
政治方針を表明した〔エ〕を制定した。この〔エ〕制定の日である
1336(建武3)年11月7日をもって、室町幕府が成立したとされている。

問(4) 下線部(c)の「二条河原落書」は、「^{このごろ}此比都ニハヤル物。^{にせりんじ}夜討強盜謀綸旨。
^{めしうどはやうまそらそうどう}召人早馬虚騒動。^{なまくびげんぞく}生頭還俗自由出家。^{にわか}俄大名迷者。…(中略)…^{まよいもの}誰ヲ師匠ト
^{あまねく}ナケレトモ。^{こかさかげ}遍ハヤル小笠懸。^{ふぜい}事新キ風情也。〔オ〕ヲコキマセテ。
^(e)
一座ソロハヌエセ連歌。在々所々ノ歌連歌。点者ニナラヌ人ソナキ。」(『建
武年間記』)と書き、建武新政権下の混乱ぶりを風刺した。下線部(e)は、公
家風と武家風が混合している有様について述べた部分であるが、空欄(オ)に
該当する語句を、漢字3字で記しなさい。

問(5) 下線部(d)の反乱を、〔カ〕の乱と呼ぶ。空欄(カ)に該当する語句を、
漢字3字で記しなさい。

問(6) 空欄(エ)に該当する語句を、漢字4字で記しなさい。

C

1603(慶長8)年、徳川家康は、すべての大名に対する指揮権の正当性を得るため、の宣下を受け、江戸に幕府を開いた。豊臣秀吉が就いた関白でなく、を選んだ理由は、豊臣秀頼との競いを避け、諸大名を指揮する武家の棟梁としての正当性を得るためであった。1604(慶長9)年には、国単位に、国絵図と郷帳^(f)の作成を命じて、自らが全国の支配者であることを示した。

1605(慶長10)年、家康は、将軍職が徳川家の世襲であることを示すため、将軍職を辞任し、徳川秀忠に将軍職を譲ったのち、駿府に隠退したが、大御所と称して実権を握り続け、1614(慶長19)年、京都の方広寺の鐘銘事件^(g)を契機として、同年10月、大坂冬の陣を引き起こした。さらに、翌1615(慶長20)年4月、大坂夏の陣が戦われ、5月に大坂城が陥落、淀君と秀頼母子は自害に追い込まれた。これにより、と呼ばれる平和の時代が到来したのである。

問(7) 空欄(キ)に該当する語句を、漢字5字で記しなさい。

問(8) 下線部(f)の「郷帳」と呼ばれる土地台帳は、検地によって割り出された村ごとのを、郡単位にまとめ、さらに一国単位に集計したもので、国絵図と一対になるように作成された。空欄(ク)に該当する語句を、ひらがな4字で記しなさい。

問(9) 下線部(g)の、京都方広寺は、豊臣秀吉が国家鎮護を祈願する目的で、1589(天正17)年に創建した寺院であり、その大仏殿は、奈良東大寺の大仏殿を上回る規模であった。いったん倒壊したが再建され、1614(慶長19)年には、巨大な鐘も铸造された。その銘の中の「国家安康…君臣豊楽、子孫殷昌」の文言が問題とされたのであるが、徳川氏はどのような点を問題視して、豊臣氏を咎めたのか、10字程度で記しなさい。

問(10) 空欄(ク)に該当する語句を、漢字4字で記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の(A)・(B)・(C)の各文を読み、各問題について、語群からもっとも適切と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(A)

15世紀の後半になると、室町幕府の勢力が徐々に後退し、それにつれて幕府の日明貿易に対する支配力も衰えていった。そのような状況の下で、堺商人と結んだ細川氏と博多商人と結んだ大内氏が、幕府に代わり貿易の実権を握るようになった。その後、細川氏と大内氏は貿易の主導権をめぐる激しく争い、ついに1523(大永3)年に、細川氏と大内氏の間に大きな衝突を引き起こした。この争いに勝った大内氏^(a)がその後の貿易を独占したが、1551(天文20)年に大内氏が滅亡したことで、この貿易^(b)は廃絶した。これにより、倭寇の活動がふたたび活発化することになったが、1588(天正16)年に豊臣秀吉が、を出し、その鎮静化を図った。

問(1) 下線部(a)に関連して、中国の海港において、大内氏の使節が細川氏の船を焼き、使節を殺害した事件を何というか。

〔語 群〕

- | | | |
|--------|--------|----------|
| A 享徳の乱 | B 寧波の乱 | C 観応の擾乱 |
| D 壬辰倭乱 | E 元慶の乱 | F 天文法華の乱 |

問(2) 下線部(b)に関連して、この貿易を統制するために明が使用した信符のことを何というか。

〔語 群〕

- | | | |
|-------|-------|------|
| A 朱印状 | B 糸割符 | C 勘合 |
| D 手形 | E 黒印状 | F 朝貢 |

問(3) 空欄(ア)に該当する語句を選びなさい。

[語 群]

- | | |
|----------|-----------|
| A 異国船打払令 | B 人掃令 |
| C 無二念打払令 | D 蛮社の獄 |
| E 海賊取締令 | F バテレン追放令 |

(B)

南北朝時代には、時代の変動を後世に伝えるべく、多くの優れた軍記物語や歴史書が現れた。南北朝の動乱を全体的に生々しく描いた軍記物語の大作である「」^(c)、承久の乱による朝廷の敗北から、後醍醐天皇^(d)が京都へ帰遷するまでの歴史を、公家という立場から記した「 (イ)」^(e)、神代より後村上天皇までの歴史を、天皇を中心に記し、南朝の立場から皇位承継の道理を説いた「神皇正統記」、足利氏一門の繁栄を樹木にたとえ、足利尊氏が創立した幕府の正当性を武家の立場から記した「」などが現れた。

問(4) 下線部(c)に関連して、この乱の後に、後鳥羽上皇・土御門上皇とともに、それぞれ遠国へ流された上皇は誰か。

[語 群]

- | | | |
|--------|--------|---------|
| A 白河上皇 | B 鳥羽上皇 | C 後白河上皇 |
| D 高倉上皇 | E 崇徳上皇 | F 順徳上皇 |

問(5) 下線部(d)に関連して、後醍醐天皇は、「延喜・天曆の治」と称えられた醍醐天皇・(ウ) 天皇の親政に憧れ、みずから「後醍醐」と称した。空欄(ウ)に該当する天皇は誰か。

[語 群]

- | | | |
|-------|-------|-------|
| A 宇 多 | B 白 河 | C 堀 河 |
| D 村 上 | E 聖 武 | F 清 和 |

問(6) 空欄(イ)に該当する語句を選びなさい。

[語 群]

- | | | |
|--------|--------|-------|
| A 太平記 | B 曾我物語 | C 梅松論 |
| D 難太平記 | E 職原抄 | F 増 鏡 |

問(7) 下線部(e)の著者は、後醍醐天皇などに仕えた南朝の重臣でもある、この筆者とは誰か。

[語 群]

- | | | |
|--------|--------|--------|
| A 細川頼之 | B 北畠親房 | C 恵鎮上人 |
| D 四辻善成 | E 今川貞世 | F 宗良親王 |

(c)

徳川家康は、1611(慶長 16)年、後水尾天皇を擁立するが、その際、天皇の譲位・即位は幕府の意向の下にあるということを世間に知らしめ、朝廷に対する幕府の優位性を示すことに成功した。幕府は、朝廷が他の大名や寺社などと接近して権力をふるうことを警戒し、朝廷と公家の行動を規制した。1613(慶長 18)年に、家業(家職)を持つことと宮中を警備することを公家の義務として命じる を、また 1615(元和元)年には、天皇の学問専念などを定める禁中並公家諸法度を制定して、朝廷の統制をおこなった。また、幕府は京都所司代を置いて朝廷を監視したほか、 を通じて朝廷の統制をはかった。

問(8) 下線部(f)に関連して、1627(寛永 4)年に起きた、幕府の法令が天皇の勅許に優先することを示し(後水尾天皇の譲位の一因ともなった)、幕府の朝廷に対する優位性を象徴した事件は何か。

[語 群]

- | | | |
|--------|--------|--------|
| A 紫衣事件 | B 霜月騒動 | C 永享の乱 |
| D 惣無事 | E 武家伝奏 | F 安土宗論 |

問(9) 空欄(エ)に該当する語句を選びなさい。

[語 群]

- | | |
|---------|-----------|
| A 服忌令 | B 諸宗寺院法度 |
| C 武家諸法度 | D 上知令 |
| E 公家衆法度 | F 勅許紫衣之法度 |

問(10) 空欄(㉑)は、老中および京都所司代と連携し、幕府側の指示を朝廷に伝えるという重要な役割を担う者であり、公家から2名が選任された。空欄(㉑)に該当する語句を選びなさい。

[語 群]

- | | | |
|--------|--------|--------|
| A 五摂家 | B 公家家業 | C 禁裏小番 |
| D 武家伝奏 | E 高 家 | F 議 奏 |

〔Ⅲ〕 次のA・B・Cの各文(一部変更を加えている)を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

〔ア〕 等聞^{ゆえん}く、国の政府ある所以^そのものは、其の国をして治且安^{かつ}ならしむる所以なり。治且安ならしむる所以の者は、斯民^{しみん}の権利^{ちようたつ}を暢達し、以て幸福安全の域^おに処らしむるにありと。……夫れ然^(a)り政府たるもの漫^{みだ}りに其力^{そのたの}を恃み、其威^いを逞^{たくましく}し、以て抑圧^{ほしいまま}を擅^(a)にするの理あらんや、人民たる者も亦能く之が束縛^{かんせい}を受け、之が箝制^{かんせい}に服するものならんや。……今や深く専制抑圧^{へい}の弊を鑑^{かんが}み、徧^{あまね}く公議^あの在る所を觀て、国家独立の基本^{ばいしよく}を培植し、人民の安寧^{あんねい}を計らんとせば、民撰議院^{いんせんぎいん}を設立し、〔イ〕の基礎を確立するより善きはなし。民撰議院^{いんせんぎいん}を設立し、〔イ〕の基礎を確立し、人民をして政權^{ちんけん}に参与せしめ、其天稟^{てんびん}の権利^{ちようたつ}を暢達^{ちようたつ}せしめば、人民自ら奮起^{ふんき}して国家の安危^{あんき}に任じ、仮令^{たとい}政府の公議^{こうぎ}を取らざる事を欲^{よく}するも、其公議は抑塞^{よくそく}するに途なく、政府専制^{ちんけん}を尚^{とうと}ぶも、其尚ぶ所の目的を果し難し。

〔『自由党史』〕

問(1) 上の文章は、1877(明治10)年6月、京都の行在所に提出された「立志社建白書」と呼ばれるものである。空欄(ア)には、提出者の名前が記されている。その氏名を記しなさい。

問(2) 下線部(a)について、1875(明治8)年6月に公布された言論を取り締まる2つの法は、^{ざんぼう}讒謗律と何か。

問(3) 空欄(イ)に該当する語句を記しなさい(漢字4字)。

問(4) 下線部(b)について、民権派の天賦人權論に対して、加藤弘之は『人權新説』において批判を加えたが、その根拠となった理論は何と呼ばれているか。漢字5字で答えなさい。

B

満州某重大事件と云つて世間に傳へられてゐるが、ウが北京から引上げて奉天に帰る途中、あの爆殺があつた時に、その報道が新聞に出ると、その日に公爵は自分に向つて、「どうも怪しいぞ、人には言えぬが、どうも日本の陸軍あたりが元兇ぢやあるまいか。」と言つて心配してをられた。……

当時、この事件に関しては、政友会の幹部のほとんど全部は、もしこれが事実日本の軍人の所為であつたとしてなら闇から闇に葬つてしまへといふ意見で、閣僚の有力者達も、エ総理に、「……さういふことが外国に知れたならば陛下のお顔に泥を塗るやうなもので……一体西園寺公の言ふやうなことは間違つてゐる。」と言つて、……その後この事件は、陸軍側は寧ろ元兇の志を国家に対する忠誠から出たものとして、その行為や壮なりとし、心ひそかに賞揚してゐる者も多くあつた。

(『西園寺公と政局』)

問(5) 空欄ウに該当する人物の氏名を記しなさい。

問(6) 下線部(c)について、1900(明治33)年9月に結成された、この政党の初代の総裁は誰か。その氏名を記しなさい。

問(7) 空欄エには事件当時の首相名が入る。その氏名を記しなさい。

C

第1条 本法ニ於テ (オ) トハ戦時(戦争ニ準ズベキ事変ノ場合ヲ含ム、以下之ニ同ジ)ニ際シ、国防目的達成ノ為、国ノ全力ヲ最モ有効ニ發揮セシムル様、人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

第4条 政府ハ戦時ニ際シ (オ) 上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、帝国臣民ヲ徴用して総動員業務ニ従事セシムルコトヲ得、但シ兵役法ノ適用ヲ妨ゲズ

第6条 政府ハ戦時ニ際シ (オ) 上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、従業者ノ使用、雇入若ハ解雇、就職、従業若ハ退職又は賃金、給料其ノ他ノ従業条件ニ付必要ナル命令ヲ為スコトヲ得

第8条 政府ハ戦時ニ際シ (オ) 上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、総動員物資ノ生産、修理、配給、譲渡其ノ他ノ処分、使用、消費、所持及移動ニ関シ必要ナル命令ヲ為スコトヲ得

(『官報』)

問(8) 空欄(オ)には、1938(昭和13)年4月に公布された法律名の一部がはいる。漢字5字で答えなさい。

問(9) 下線部(d)について、これに基いて翌年に出された、重要産業に従事する労働者を強制的に調達するための命令は、何と呼ばれているか。

問(10) 下線部(e)について、「欲しがりません、勝つまでは」のスローガンのもとに、経済統制は国民生活の隅々にまで及んでいったが、砂糖やマッチなどに対して取られた措置は、何と呼ばれているか(漢字3字)。

〔Ⅳ〕 次の(A)・(B)・(C)・(D)の各ブロックの文中の空欄(番号が付された箇所)に、各ブロックの語群からもっとも適切と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(A) 1925(大正14)年、 内閣は、いわゆる普通選挙法を成立させ、満25歳以上の男性に衆議院議員の選挙権を与えた。1928(昭和3)年の普通選挙制による最初の総選挙において、無産政党は合計8議席を獲得した。これに対して、 内閣は、選挙直後に共産党員を一斉検挙し、日本労働組合評議会などの関係団体を解散させた。また、同年に、緊急勅令によって を改正し、最高刑を死刑とするとともに、全国の警察にも特別高等課(特高)を設置し、1929(昭和4)年にも、共産党員を大規模に検挙した(この弾圧を という)。

内閣は、また、中国における国民革命軍による北伐に対して、1927(昭和2)年、中国関係の外交官・軍人を集めて を開き、強硬方針を打ち出した。そして、 内閣は、満州軍閥の を支援し、日本人居留民の保護を名目に、3次にわたる を実施した。1928(昭和3)年の第2次 の際、日本軍は国民革命軍と武力衝突した。

軍が国民革命軍に敗れると、関東軍の 大佐らは を排除して満州を直接支配しようとして、1928(昭和3)年6月、 を奉天郊外で列車ごと爆殺した。 内閣は、首謀者の 大佐を停職にしなければ真相を明らかにしなかったため、天皇の不興をかい、1929(昭和4)年に総辞職することとなった。

〔語 群〕

- | | | |
|----------|----------|---------|
| A 四・一六事件 | B 満州移民 | C 河本大作 |
| D 済南事件 | E 張鼓峰 | F 日満議定書 |
| G 清浦奎吾 | H 二・二六事件 | I 西安事件 |
| J 加藤高明 | K 桂太郎 | L 張学良 |
| M 治安維持法 | N 原 敬 | O 山東出兵 |
| P 三・一五事件 | | |

(B) 1871(明治4)年, [] によって金本位制の採用が定められたが, 金の準備不足でその確立には至らなかった。 [] 内閣は, 1897(明治30)年に [] を制定し, 日清戦争での勝利によって得られた清国からの巨額の賠償金の一部を準備金として, 欧米諸国にならった金本位制を採用した。しかし, 第一次世界大戦の影響により, 1917(大正6)年から金本位制は停止され, 金の輸出が禁止された。

1930(昭和5)年, [3] 内閣の [] 蔵相は, 為替相場を安定させて国際競争力を回復させるため, 金の輸出を解禁して, 金本位制への復帰をはかった。しかし, 1929(昭和4)年10月24日に端を発する [] に対して, 大戦景気時代の1ドル=約2円という交換比率(旧平価)で金の輸出を解禁したため, 金が海外流出するとともに, 日本経済は [] に巻き込まれ, [] が発生した。

1931(昭和6)年末, [] 内閣の [4] 蔵相は, 輸出不振と金流出に対応するため, 金本位制を停止し, 政府が紙幣発行量の管理と対外決済のための金の管理をおこなう [5] に事実上移行させた。その後, 1942(昭和17)年, [] によって, [5] が確立した。

[語群]

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| A 固定相場制 | B 高橋是清 | C 井上準之助 | D 斎藤実 |
| E 日本銀行法 | F 昭和恐慌 | G 貨幣法 | H 若槻礼次郎 |
| I 新貨条例 | J 管理通貨制度 | K 松方正義 | L 変動相場制 |
| M 浜口雄幸 | N 資本主義恐慌 | O 犬養毅 | P 世界恐慌 |

(C) 第一次世界大戦や米騒動などによる米価の急変動に対応するため、1921(大正10)年に、米穀法が制定された。1933(昭和8)年、米穀法を発展させた [] が制定されるとともに、1936(昭和11)年には、 [] が制定され、国家による食糧統制が強められた。しかし、戦争の影響によって労働力や肥料などが不足したために、1939(昭和14)年頃から、わが国の農業生産力は低下した。政府は、とくに主食である米の不足に対応するため、1939(昭和14)年に [] を制定して、米の [] 制を実施した。他方、農民に対しては、 [6] 制を実施して米を強制的に買い上げた。また、同年に [] を制定し、地主に支払う小作料を制限するとともに、政府に小作米を直接納入させるなどして、食糧の増産と確保をめざした。そして、1942(昭和17)年に [7] を制定して、食糧の国家管理体制へと移行した。しかし、1945(昭和20)年の大凶作による米不足から、 [] が、米からサツマイモなどの代用食にかえられた。さらに、遅配・欠配が続いたため、都市部の民衆は、農村への買出し、闇市での闇買い、家庭での自給生産などによって、食糧を確保した。

1967(昭和42)年頃になると、 [7] のもとでの [] の引き上げや、食生活の洋風化などの影響によって、米の供給過剰がおこった。また、 [] の赤字も問題となり、1970(昭和45)年から [] 政策が始まった。また、新たな制度の枠組みの中で [] という民間取引が拡大していった。

1995(平成7)年にいわゆる [] が施行されて、それまでの [7] が廃止され、米の流通が部分的に自由化された。2004(平成16)年には、いわゆる [] が改正され、さらに自由化が進められるとともに、 [] 政策も見直された。2013(平成25)年には、5年後までに [] 政策を廃止することが政府から発表された。

[語 群]

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| A 米穀自治管理法 | B 生産者米価 | C 減 反 |
| D 配 給 | E 食糧管理特別会計 | F 食糧法 |
| G 米穀配給統制法 | H 小作料統制令 | I 年貢米 |
| J 自主流通米 | K 消費者米価 | L 加徴米 |
| M 農業生産統制令 | N 供 出 | O 米穀統制法 |
| P 食糧管理法 | | |

(D) 1954(昭和29)年、 事件で自由党の 内閣が批判を浴びると、自由党内の反 派である 8 らが離党して、日本民主党を結成した。同年末、 内閣が退陣すると、 8 内閣が成立し、憲法改正・再軍備を推進する方針を打ち出した。他方で、そのような「逆コース」を批判する左右両派の社会党も支持を集め、とくに再軍備反対の立場を明確にした左派社会党は、日本労働組合総評議会(総評)の支援を受けて議席を増やしていった。そして、1955(昭和30)年2月の総選挙で、社会党は左右両派あわせて憲法改正の発議を阻止するのに必要な3分の1の議席を確保し、10月には両派が統一した。保守勢力も、11月に日本民主党と自由党が合流して自由民主党(自民党)を結成し(これを という)、初代総裁に 8 首相が選出された。その結果、形式上は二大政党制となったが、保守勢力が議席の3分の2弱を、革新勢力が3分の1を保持し、保革が対立しつつ保守一党優位で進む政治体制が確立した(これを55年体制という)。

1989(平成元年)年に自民党の 内閣が 事件により退陣したほか、自民党の 内閣が1992(平成4)年の 事件と翌年の 9 事件で批判を浴び、選挙制度改革や政界再編の気運が高まった。1993(平成5)年に自民党が分裂し、衆議院議員総選挙で過半数を割ったため、 内閣が退陣し、 10 の を首相として、共産党を除く非自民8党派による連立政権が発足した。これにより、55年体制が崩壊した。しかし、 内閣を継いだ羽田孜内閣が短命に終わると、自民党と社会党が提携し、これに が加わり、社会党の 委員長を首相とする政権が成立した。このとき、社会党は、安保・自衛隊や消費税を容認するなど、党の基本路線を大幅に変更した。

[語 群]

- | | | |
|---------|--------------|--------|
| A ロッキード | B 新党さきがけ | C 保守合同 |
| D 竹下登 | E 昭和電工(昭電疑獄) | |
| F 細川護熙 | G ゼネコン汚職 | H 宮沢喜一 |
| I 日本新党 | J 吉田茂 | K 海部俊樹 |
| L 村山富市 | M 佐川急便 | N 鳩山一郎 |
| O 造船疑獄 | P 新進党 | |